

実施日程	実施校名	都道府県
2022		
10月27日(木)	唐津市立厳木小学校	佐賀県
10月28日(金)	佐世保市立花高小学校	長崎県
11月14日(月)	玉名市立横島小学校	熊本県
11月15日(火)	八代市立松高小学校	熊本県
11月16日(水)	//	//
11月17日(木)	菊池市立花房小学校	熊本県
11月18日(金)	小竹町立小竹南小学校	福岡県
11月28日(月)	学校法人鎮西敬愛学園敬愛小学校	福岡県
11月29日(火)	福岡市立香陵小学校	福岡県
11月30日(水)	古賀市立舞の里小学校	福岡県
12月6日(火)	武雄市立武雄小学校	佐賀県
12月7日(水)	伊万里市立二里小学校	佐賀県
12月8日(木)	吉野ヶ里町立東脊振小学校	佐賀県

## 知ってますか? ~ 10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

## オペラシアターこんにやく座とは…

オペラシアターこんにやく座は、(新しい日本のオペラの創造と普及)を目的に掲げ、1971年に創立されました。母体となったのは、東京芸術大学内で1965年から12年間にわたって活動が続いた学生たちのサークル「こんにやく体操クラブ」です。このクラブでは、故宮川陸子氏(元東京芸術大学名誉教授)指導のもとに、身体訓練と演技の基礎訓練が行われました。

こんにやく座は、この「こんにやく体操クラブ」出身者たちにより、日本語のオペラ作品をレパートリーとするオペラ劇団として設立され、全国巡回公演を開始しました。日本で上演されるオペラは、原語での上演も多く字幕の助けを必要とすることが多いため、一般の観客が楽しめるものになっていません。そのなかでこんにやく座は創立当初から日本語をいかに伝えるかを課題とし、その結果、よく聞き取れる、内容の伝わるオペラが数多く創り出されました。

こんにやく座はまた、オペラの演劇性を重視し、演出面にも斬新な発想を提示し続けています。そして大掛かりなグランド・オペラの方向はとらず、ピアノのみ、あるいは小編成のアンサンブルの演奏と少人数の出演者による作品を創作し、上演を重ねてきています。その成果は各方面からの評価を得ています。

## オペラシアターこんにやく座

〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原7-14-1 TEL 044-930-1720 FAX 044-930-1721  
E-mail info@konnyakuza.com URL http://www.konnyakuza.com



# オペラ 森は生きている

オペラシアターこんにやく座公演



## 令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業 -巡回公演事業- ミュージカル公演

「文化芸術による子供育成推進事業-巡回公演事業-」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに美演指導または鑑賞指導を行います。また、美演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

# オペラ 森は生きている

オペラシアターこんにゃく座公演

原作 サムイル・マルシャーク  
訳 湯浅 芳子  
台本・作曲 林 光  
演出 眞鍋 卓嗣



わがままな女王の気まぐれからはじまった  
かごいっぱい金貨につられたマツユキ草探し  
むりやり冬の森へ行かされた〈むすめ〉が出会ったのは  
〈時間〉をつかさどる自然のまもり手  
一月から十二月までの十二人の〈月の精〉たちだった  
“もえろ もえろ あざやかに”  
月たちが歌う焚き火のぬくもりのなかで  
〈むすめ〉はなにをもらったか？  
女王はなにを学んだか？

## キャスト

- 1月・総理大臣 …… 佐藤敏之
- 2月・警護隊長 …… 大久保哲
- 3月・オオカミ …… 彦坂仁美
- 4月・カラス …… 泉篤史
- 5月・ウサギ …… 冬木理森
- 6月・もうひとりのむすめ …… 沖まどか
- 7月・むすめ …… 鈴木裕加
- 8月・女官長 / オオカミ …… 豊島理恵
- 9月・おっかさん …… 齊藤路都
- 10月・女王 …… 熊谷みさと
- 11月・兵士 …… 大石哲史
- 12月・博士 …… 佐山陽規
- ピアニスト …… 入川舜・大坪夕美

## マツユキ草

ヒガンバナ科の観賞用植物。二十センチメートルほどの茎の先端に数個の下向きの白い花をつける。早春に開花。スノードロップ＝雪のしずく。



写真＝前澤秀登

いつものように、森へたきぎ拾いにきた働きものの娘は、偶然出会った兵士から不思議な話をききました。それは大晦日、森でひそかに交わされる、「時」をめぐる十二の月の精たちの秘めごとです。

宮殿では、今日も女王が博士（女王の家庭教師）を困らせています。気まぐれな女王が真冬に四月の花マツユキ草をほしいと言いましたのです。ほうびの金貨に目のくらんだ欲ぶかい継母と姉娘のいつつで、吹雪の森に分け入った娘は、そこで十二の月の精と出会います。娘の話をきいた「四月」の若者は、他の月たちに頼んで一時間だけ「時」をゆずってもらいます。冬から春へたちまち季節はめぐり、なんと娘の前にマツユキ草が！

家でまちかまえていた継母たちは、娘からマツユキ草を取り上げ、「四月」の若者が娘に贈った指輪をも横どりすると、いそいそと金貨を受け取りに宮殿へ。だが、事のとてんまつを女王に問われて、答えに窮した継母と姉は、ついにありのままを白状、指輪は女王の手に渡ります。

女王は、遠乗り会よろしく各国の大使と家来全員をひき連れて森へ到着し、連れてこられた娘にむかい、マツユキ草の秘密を明かせと迫ります。決して人には話さないという「四月」との約束に、固く口をつぐむ娘。腹を立てた女王は、その指輪を雪のなかへと放りなげてしまいます。だが、それが秘密のカギでした。娘は必死に四月からおそわった呪文をとなえると、あたり一面にマツユキ草が咲きます。しかしそれは一瞬にして消え、驚く女王たちの目の前で季節がすぎつぎと変わって行きます。そしてあたりはふたたび真冬の森に。

女王たちはごえながら森をさまよいます……